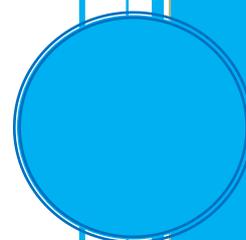


平成 29 年度 新富町事業実施計画書

平成 29 年 7 月

新富町



第1節 暮らし・環境

1. 生活環境
2. 自然環境保全・公害

1. 生活環境

① 暮らしのインフラ

幹線道路整備事業

1億4,160万円

担当：都市建設課

- ◆ 幹線道路については引き続き計画的に整備します。
- ① 佐土原～木城線道路改修工事
- ② 佐土原～木城線道路改修工作物補償
- ③ 越馬場～野中線実施設計委託業務
- ◆ 国道10号新富バイパス（4車線化）の早期完成と三納代地区事業推進を国に強く要望します。

幹線以外の道路整備及び交通安全対策事業

2億830万円

担当：都市建設課

- ◆ 町民生活の向上及び安全な道路の整備、管理に努めます。
 - ① 塚原～竹ヶ山線道路改良工事
 - ② 樋之元線道路改良工事
 - ③ 平田～栗野田線道路改良工事
 - ④ 富田町～上城元線道路改良工事
 - ⑤ 永牟田線道路改良工事
 - ⑥ 楠～西畦原線道路改良工事
 - ⑦ 芝原～末永線実施設計委託業務
 - ⑧ 中村～竹淵線用地測量委託業務
 - ⑨ 湯風呂～追分線測量設計委託業務
 - ⑩ 三納代～北原牧線補償調査委託
 - ⑪ 新富町道路施設等調査委託業務
 - ⑫ 祇園原～駒取線舗装補修
 - ⑬ 末永～鬼付女線舗装補修
 - ⑭ 矢床線舗装補修
 - ⑮ 橋りょう補修設計委託業務
- その他町道維持補修など

町内IT化の促進

担当：総務財政課

- ◆ 光ファイバーによる情報通信基盤を活用したICTによる安全・安心なまちづくりのための、調査、研究、支援を行います。
- ① ICT利活用における全般的な支援業務
- ② 他市町村におけるICT利活用の現状調査、研究等
- ③ システム導入した場合の成果、コスト等の研究
- ④ ICT街づくりにおける推進体制の支援等

コミュニティバス事業

599 万円

担当：まちおこし政策課

- ◆ 移動手段を持たない方に対し、日常生活に必要な交通手段として町内全域にコミュニティバスを運行します。

水資源の保全

1,878 万円

担当：環境水道課

- ◆ 安心して、おいしく飲める水の供給のために、関係機関と連携して、一ツ瀬川流域の水質監視と水質管理情報についても共有化を行ない、一ツ瀬川の水質保全を図ります。
- ◆ 水は限られた資源であることから、水の持つ役割や大切さを理解し貴重な水資源の有効活用のため、有収率の向上を図ります。

上下水道施設の整備、災害時に備えた上水道の確保

4,250 万円

担当：環境水道課

- ◆ 上水道施設の適正な管理に努めるとともに、老朽化した設備の計画的な整備を進めます。
- ◆ 水の安定供給を図るため、配水管の布設工事を実施します。
- ① 佐土原～木城線配水管布設工事
- ◆ 水圧不足地域の解消および耐震対応水道管への切換えを行います。
- ① 牧神配水池配管布設替工事
- ② 麓地区配水管布設替工事
- ◆ 国道10号改良工事工期に合わせて、配水管布設工事を実施します。

② 消防、救急、防災、交通安全、消費者行政

防火意識向上の推進

2億4,243万円

担当：防災基地対策課

- ◆ 消防団組織の充実
 - ① 消防団員の確保を図ります。
 - ② 女性消防団員（ラッパ隊員）の加入促進を図ります。
- ◆ 東児湯消防組合と連携し、住宅用火災報知器の設置率向上を図ります。
- ◆ 消防機庫（第1分団第3部）を建築します。

救急体制の強化

4,585万円

担当：防災基地対策課

- ◆ 関係機関と連携し、消防や救急活動に必要な車両や資機材、人材の確保を図ります。
- ◆ 関係機関と連携したドクターヘリの運用を行います。

住民と一体となった防災体制の構築の推進

107万円

担当：防災基地対策課

- ◆ 自主防災組織設立の環境づくり
 - ① 区長会等で組織づくりのための情報を提供します。
 - ② 年間10地区以上の自主防災組織設立を目指します。
 - ③ 自主防災組織、消防団等で県が行う防災士養成研修を受講し、地域等における防災リーダーの育成を図ります。なお、資格取得に必要な防災士試験受験料と防災士認証申請料を助成します。
- ◆ 自主防災組織への活動支援
 - ① 防災意識向上のため自主防災組織を中心に、消防署、消防団と合同での防災訓練や各種研修・講習会を開催します。
 - ② 自主防災組織を結成した地区に対して、発電機や投光機等の防災資機材を配置します。

災害時体制の強化の推進

350万円

担当：防災基地対策課

- ◆ 総合的な災害時体制の強化
 - ① 福祉課の作成する避難行動要支援者リストをもとに、個別支援計画の作成を検討します。
 - ② 災害時の物資提供等の体制を確立するため、関係事業所との支援協定を計画的に締結していきます。
 - ③ 災害時の避難者のため、3日間程度の食料を5年間かけて備蓄します。
 - ④ 地域住民と連携した避難訓練を実施します。

- ⑤ 防災行政無線（屋外）の計画的な更新を行います。
- ⑥ 大規模災害発生時の救援物資等の受け入れをスムーズに行うための「受援計画」を検討します。

木造住宅耐震診断事業

54 万円

担当：都市建設課

- ◆ 昭和 56 年 5 月 31 日以前に建てられた木造住宅について、耐震診断を行います。（予定戸数：10 戸）

※1 戸当たり 6 千円の個人負担が必要

木造住宅耐震改修設計事業

50 万円

担当：都市建設課

- ◆ 耐震診断によって耐震基準を満たさないと判定された木造住宅に対して、その所有者が行う耐震改修の設計に要する費用の一部を補助します。（予定戸数：5 戸）

※1 戸当たり補助限度額：10 万円

木造住宅耐震改修事業

165 万円

担当：都市建設課

- ◆ 耐震診断によって耐震基準を満たさないと判定された木造住宅に対して、その所有者が行う耐震改修の工事に要する費用の一部を補助します。（予定戸数：【一般型】1 戸、【段階型】2 戸）

※1 戸当たり補助限度額：【一般型】75 万円、【段階型】45 万

活用できる補助金等	内容
新富町木造住宅耐震改修事業補助金	耐震改修に要した費用の 3 分の 1（75 万円を上限とする）を補助する耐震改修事業を行います。

安心安全な町づくりの推進

1,022 万円

担当：防災基地対策課

- ◆ 地域住民等から設置要望があった箇所に防犯灯を設置します。また、機器の長寿命化と電気料の負担軽減を図るため、照明器具に LED を採用します。
 - ◆ 青色パトロール車を活用し、危機管理専門員・防犯パトロール員による巡回及び講話を実施します。
- ① 交通安全運動期間に合わせて、高齢者クラブを対象とした「あおぞら教室」を開催し、交通安全・防犯に関する講習会を年間 6 回程度実施します。
 - ② 毎月約 10 世帯程度独居高齢者宅等への訪問を行います。
 - ③ 防犯・交通安全教室を開催する学校や保育所（園）において、不審者対策の防犯教室と交通安全教室を年間 3 ヶ所で開催します。

- ④ 児童・生徒の下校時間に合わせた安全パトロールを毎日実施するとともに、毎月第3金曜日に「見守り隊」と合同で安全パトロールを行います。
- ◆ 防犯・交通安全情報を提供する「新富町メール配信サービス」の登録促進を行います。

交通安全対策

165 万円

担当：防災基地対策課

- ◆ 見通しの悪い交差点や危険箇所等にカーブミラー、注意喚起を促す看板を設置します。

消費者行政の啓発

45 万円

担当：町民こども課

- ◆ 消費者相談窓口について広報誌やホームページに掲載し町民の皆様への周知を行います。
- ◆ 消費者の安全と安心を確保するために、国民生活センターなどと連携して、相談者の悩みや問題などの早期解決を継続的に行います。
- ◆ 町主催のイベント時に消費者啓発活動をより一層強化し、消費者教育の拡充に今後とも努めます。

③ 基地対策

騒音対策

担当：防災基地対策課

- ◆ 基地騒音の軽減に対する町民の要望が強い住宅防音工事のさらなる推進を図ります。告示後住宅の防音工事については、平成26年4月から85W以上の区域で国が定めた項目に該当する住宅に対して住宅防音工事が開始されましたが、まだ対象となっていない告示後住宅の防音工事ができるように国に働きかけます。また、住宅防音、空調機等の機能復旧工事については、待機住宅の早期解消を国に働きかけます。
- ◆ 防音工事の対象とならない新築家屋について、建築費用と空調機器購入費用に対して補助を行い、定住促進につなげていきます。

障害防止対策

担当：防災基地対策課

- ◆ 米軍の移転訓練期間中は、庁舎内に「米軍移転訓練連絡本部」を設置し、町民の不安解消を図るとともに、情報の収集・提供を充実させることで、監視体制のマニュアルに添った連絡体制づくりを強化します。
- ◆ 緊急連絡のため現地に連絡員を配置し、情報の迅速な把握に努め、町民の安全・安心の確保に取り組みます。

- ◆ 米軍再編に係る21項目の覚書について、年1回九州防衛局と町関係各課により検証を行い、安心・安全対策や地域振興策等について協議を行います。

生活環境整備

100 万円

担当：防災基地対策課

- ◆ 基地周辺財産によって発生する諸問題について、迅速に対応できるよう国（熊本防衛支局、新田原基地）との連絡を密にします。
- ◆ 基地内および周辺財産の樹木等の伐採や管理への対策を申し入れます。
- ◆ 激甚地区を対象に生活道路の整備を行います。

緑地広場整備

507 万円

担当：防災基地対策課

- ◆ 町が指定する周辺財産の緑地帯の整備を国と協議し進めていきます。

④ 住宅、公園、緑地、環境美化

町営住宅整備事業

4,729 万円

担当：都市建設課

- ◆ 防衛省住宅防音事業で設置した町営住宅の空調機器について、設置から10年以上経って機能が低下した機器の機能復旧を行います。（予定台数：35台）
- ◆ 栗野田団地A棟の外壁及び階段室手摺の改修を行います。
- ◆ 新町新団地A棟・B棟の外壁改修を行います。

新築住宅への助成事業

4,565 万円

担当：防災基地対策課

- ◆ 自己の居住のための新築住宅取得者及び中古住宅（リフォーム含む）取得者に対し経費の一部を助成することで、定住促進を図ります。

活用できる補助金等	内容
新富町定住促進補助金	全体建築工事費（併用住宅の場合は、住宅以外の用途に係る費用を除く。）の10/100を助成します。上限額は100万円。
町内建築業者による新築の場合	
町外建築業者による新築の場合	
中古住宅の場合	中古住宅を購入した場合、最高40万円を助成します。また購入後リフォームを行った場合は、別途最高10万円を助成します。

町内設備事業者による空調機器設置工事の場合	空調機器（冷暖房機能付き）1台につき、5万円を助成します。上限額は15万円(3台まで)
町外設備事業者による空調機器設置工事の場合	空調機器（冷暖房機能付き）1台につき、2.5万円を助成します。上限額は7.5万円(3台まで)

地域おこし協力隊の受入

429万円

担当：まちおこし政策課

- ◆ 都市部からの住民を地域おこし協力隊員として受け入れ、地域活性化に貢献してもらうとともに定住の促進を図ります。

⑤ ごみ処理・リサイクル

適正なごみ処理

2億8,716万円

担当：環境水道課

- ◆ ごみの分別収集を徹底し、適正な一般廃棄物の処理を行います。また、資源ごみについては西都児湯クリーンセンターにて適正処理を行い、循環型社会の形成に努めます。
- ◆ 1市5町1村で、適正なごみの処理や減量化について検討していきます。
- ◆ ごみ収集所に排出されたごみが、適正に収集運搬されるよう監視します。
- ◆ 塵芥中間受入施設（旧藤山）の搬入ごみについて適正に管理運営を行ない、搬入されたごみを適正に処分します。
- ◆ 町内の各地区のごみ収集を迅速にし、町民の衛生的な生活環境を保持していきます。

ごみ減量化及び資源リサイクルの推進

60万円

担当：環境水道課

- ◆ 定期的にごみの分別やリサイクルについての啓発を行います。
- ◆ ごみ分別の徹底と再資源化について啓発し、循環型社会の形成に取り組みます。
- ◆ 西都児湯クリーンセンターで年間2回行う「環境フェスタ」を通じて、環境保全等について啓発していきます。
- ◆ 生ごみを削減するためコンポストの普及を進めていきます。

⑥ 火葬場施設・墓地

火葬場の運営・設備

949万円

担当：環境水道課

- ◆ 平成27年度に完成した、環境に配慮した近代的な火葬場の効率的な維持管理を進めていきます。

- ◆ 火葬場運営について、1市5町での広域取組みとして進めていきます。

墓地の管理

38万円

担当：環境水道課

- ◆ 各地区の墓地に関する相談窓口になります。
- ◆ 墓地改葬について住民に周知します。
- ◆ 町営墓地を適正に管理します。

2. 自然環境保全・公害

① 自然環境保全・公害

自然環境の保全

担当：環境水道課

- ◆ 海岸清掃等のボランティア活動を推進します。

環境保全意識の啓発

4万円

担当：環境水道課

- ◆ 町民に公共水域の水質保全意識の高揚のため啓発を行います。

環境汚染対策

57万円

担当：環境水道課

- ◆ 不法投棄等の監視パトロールを行います。
- ◆ 河川汚染の原因の1つとなる家庭からの廃食油の流入を防ぐために、年間5,000ℓを目標に廃食油の回収を行い、河川等の水質検査を定期的（年4回）に行っています。

排水路整備事業

5,583万円

担当：都市建設課・環境水道課

- ◆ 各地域の実情に応じ、排水路の整備を行います。
- ① 六反田地区排水路整備調査・工事
- ② 仲伏地区排水路実施設計
- ③ 湯之元線排水路実施設計
- ④ 追分地区排水路工事

排水処理対策等の充実

1億4,530万円

担当：環境水道課

- ◆ 生活排水から河川等の水質を守る為に、生活排水処理率（合併浄化槽使用率）66%を目標に推進します。
- ◆ し尿や浄化槽汚泥の処理を行っている新富処理施設「潮香苑」を適正に運営していきます。

活用できる補助金等	内容
新富町浄化槽設置整備事業補助金	<p>新富町内全域で合併浄化槽設置に対して補助が受けられます。</p> <p>【転換】</p> <p>5人槽 33万2千円 7人槽 41万4千円 10人槽 54万8千円</p> <p>【新設】</p> <p>5人槽 27万円 7人槽 33万円 10人槽 42万円</p>
単独処理浄化槽撤去費補助金	<p>新富町内全域で合併浄化槽設置に伴う単独処理浄化槽撤去等の費用に対して補助が受けられます。上限9万円</p>

第2節 健康・福祉

1. 保健・健康づくり・医療
2. 国民健康保険
3. 高齢者福祉、高齢者医療、介護保険
4. 障がい者福祉
5. 児童福祉
6. 低所得者福祉・母子父子家庭福祉

1. 保健・健康づくり・医療

① 健康・保健づくり・医療

健康管理体制の充実

2,146万円

担当：いきいき健康課

- ◆ 特定健康診査・特定保健指導を推進し、生活習慣病の予防を重点的に実施するとともに、検査結果に応じて家庭訪問による個別指導等を行います。
- ◆ 疾病予防対策として、保健相談センターを拠点に健康教育・健康相談の充実を図ります。
- ◆ 健康に対する正しい知識の普及・啓発のため、地域に出向いての健康教室や栄養指導等を行います。
- ◆ 町と宮崎大学医学部との官学連携で生活習慣病の疾病予防対策等に関する調査研究を行います。

活用できる補助金等	内容
国民健康保険特定健康診査	国民健康保険加入者の20歳以上75歳未満の方を対象に無料で実施しています。
出前健康教室	健康講話や料理教室などを地域に出向いて開催しています。お申し込みにより随時ご要望に応じていますので、是非ご活用ください。

自殺対策事業

28万円

担当：いきいき健康課

- ◆ 自殺は、その多くが追い込まれた末の死、その多くが防ぐことができる社会的な問題、自殺を考えている人は何らかのサインを発していることが多いという基本認識のもと「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指します。
- ◆ 自殺対策啓発用パンフレットやこころの電話帳などを配布し、住民一人ひとりが自殺予防のために行動「気づき」「つながり」「見守り」ができるよう広報啓発に取り組みます。
- ◆ 自殺の可能性が高い世代を中心に“こころの相談票”を送付し、希望する対応に応じて相談や専門機関への紹介等を行います。
- ◆ 自殺対策ボランティア団体と連携し、見守り活動や啓発活動を行います。

町民の健康を守る取組の推進

8,257万円

担当：いきいき健康課

- ◆ 乳幼児、児童・生徒が感染症に罹患することを予防するとともに、罹患しても重篤にならないために、予防接種の助成を行います。
- ◆ 受診率向上のため、子宮頸がん検診、大腸がん検診、胃がん検診、前立腺がん検診、肺がん検診、乳がん検診の助成を行います。
- ◆ 子宮頸がん検診にHPV検査を追加し、肺がん検診については、CT検診も選択できるなど、より精度の高い検診を実施し、がんの早期発見、早期治療につなげます。

- ◆ 特定健康診査の受診率向上を図り、保健指導の充実をはかります。
- ◆ 特定健康診査の結果説明会や慢性腎臓病（CKD）予防教室を実施し、住民の生活習慣へのふりかえりにつなげます。
- ◆ 健康増進を目的に、肝炎ウイルス検査・歯周病検診を行います。
- ◆ 地域に出向いて、調理法や食事についてのアドバイスを具体的に行うことによって、全ライフステージ、健康レベルにある者が、新富町産の食材を使った高齢者ソフト食を通して健康づくりを実践できるように支援を行います。

活用できる補助金等		内容
予防接種助成	定期予防接種	BCG，四種（三，二種）混合，麻疹・風疹，日本脳炎，子宮頸がん，ヒブ，肺炎球菌（小児・高齢者），水痘，B型肝炎（平成28年10月から）は対象年齢の期間は無料で予防接種が出来ます。
	任意予防接種	おたふくかぜ，ロタウイルス予防接種に対する一部助成を行います。
各種がん検診助成	全額助成	40～64歳で特定健診を5か年（平成24～28年度）継続して受診している方にすべてのがん検診を無料で行います。31歳女性の方は子宮頸がん検診、41歳の方は大腸がん検診、41歳女性の方は乳がん検診を無料で行います。65歳以上の方は、国の再編交付金を活用し無料で行います。
	一部助成	各種がん検診の対象者に対し、一部助成を行います（健康カレンダー参照）。
肝炎ウイルス検査・歯周病検診		肝炎ウイルス検査は40歳以上で今まで検査を受けたことがない方へ、無料で検査を行います。歯周病検診は40・50・60・70歳の方を対象に、検査費用を町が一部助成し町内の歯科医院で検診を実施します。

結核対策の推進

270万円

担当：いきいき健康課

- ◆ 結核は今でも全国で1日に56人の新しい患者が発生し（1年間では約2万1千人）、1日に6人が命を落としている日本の重大な感染症です。こうしたことから、関係団体、地方公共団体および関係省庁との十分な協力の下で結核対策を推進しています。
- ◆ 結核に関する正しい知識を周知広報し、その予防に十分な注意を払います。
- ◆ 患者等の人権が損なわれないよう結核検診を推進し、早期発見・早期治療に取り組みます。

活用できる補助金等	内容
結核検診	65歳以上の方が対象で受診料は無料です。

地域医療体制の整備

1,604万円

担当：いきいき健康課

- ◆ 町民の医療分野におけるニーズの多様化や救急医療体制、医師・看護師不足などの問題について、関係機関と連携し、よりよい地域医療体制づくりを目指します。

2. 国民健康保険

① 国民健康保険

国民健康保険

27億6118万円

担当：いきいき健康課

- ◆ 国民健康保険事業においては、適切な医療給付を行うことが義務付けられていますが、これは被保険者が傷病にかかった後の措置となります。そのため、保健事業により被保険者の傷病の発生を未然に防止することや、早期発見・早期治療により重症化・長期化を防ぎ、健康の保持増進を図ることが極めて重要です。また、特定健康診査などの結果に基づいた適切な保健指導を行うなど、早期発見・早期治療を行い、医療費の節減に取り組みます。

活用できる補助金等	内容
脳ドック助成	国民健康保険加入者を対象に200人を定員に実施しています。通常は3万円程の費用がかかりますが、助成により本人負担は6,000円となります。 ただし、過去2年以内に受診された方は、助成の対象外になります。
人間ドック助成	国保加入者で医療機関において人間ドックを受けられた方に対し、特定健診相当額を助成します。

3. 高齢者福祉、高齢者医療、介護保険

① 高齢者福祉、高齢者医療、介護保険

高齢者の健康づくり

431 万円

担当：いきいき健康課

- ◆ 高齢化が進むにつれて、疾病全体に占めるがん、心臓病、脳卒中、糖尿病等の生活習慣病の割合は急増しています。そのため特定健康診査や特定保健指導等を充実させ、壮年期を健康に過ごすことで、認知症や寝たきりにならない状態で生活できる期間（健康寿命）を延伸していくことが極めて重要です。
- ◆ 町民一人ひとりが自らの健康づくりに積極的に取り組むとともに、町が健康教育・健康相談を推進することで、高齢者が安心して生活できる環境づくりを目指します。

活用できる補助金等	内容
すこやか高齢者健康診査	75歳以上の後期高齢者医療保険加入者を対象に実施しています。皆さま無料健診となっていますので、自分の健康状態を知るために受診して下さい。

介護自主予防教室助成事業

108 万円

担当：福祉課

- ◆ 地域で自主的な介護予防を展開する教室（3B体操教室、ダンベル教室等）に対し、講師謝金の一部を助成します。

活用できる補助金等	内容
介護自主予防教室助成	65歳以上の一般高齢者が10名以上参加し、介護予防（3B体操教室、ダンベル教室等）教室を自主的に行っている団体に謝金として月額20,000円の助成を行います。

サロン型事業「こむずカフェ」

126 万円

担当：福祉課

- ◆ 訪問・通所サービスCからの卒業先としての居場所であり、曜日によってメニューが異なり、運動指導士を講師とし体操をするなど憩いの場とします。

しんとみキラリ輝き体操教室

186 万円

担当：福祉課

- ◆ 地区が中心となり公民館において、おもりを使用した筋力トレーニング（キラリ輝き体操）を行い、筋力アップすることで介護状態になることを予防する教室の支援を行います。
 - ・週1回うち最初の4回のみインストラクター（理学療法士等）による技術指導
 - ・体力測定必要時測定

高齢者のいきがづくり

87 万円

担当：福祉課

- ◆ 老人クラブ連合会において生涯学習講座やボランティアへの参加など生きがづくりの充実を図ります。

高齢者医療**3億8,248万円**

担当：いきいき健康課

- ◆ 75歳以上の高齢者においては、働いている方の割合が少なく、一方で通院・入院をされる方が多い傾向にあります。後期高齢者医療制度は、高齢者の医療費を全員で支える仕組みです。医療費の負担割合は、国・県・市町村が約5割、若い世代が加入する医療保険が約4割、被保険者の方々がお支払いいただく保険料総額が約1割となっています。また、医療機関での窓口負担は、一般の方が1割で現役並み所得の方が3割となっています。

介護予防・日常生活支援総合事業**1,054万円**

担当：福祉課

- ◆ 訪問型サービスA（緩和した基準によるサービス）日常生活支援が必要な高齢者の在宅生活を支援します。
- ◆ 訪問型サービスB（住民主体によるサービス）有償ボランティア等により買い物や掃除等の簡単な家事支援を柔軟に行います。
- ◆ 訪問型サービスC（短期集中予防サービス）保健・医療の専門職が短期間（3～6か月）において居宅での相談及び指導を行います。
- ◆ 通所型サービスC（短期集中予防サービス）保健・医療の専門職が短期間（3～6か月）において生活機能を改善するために、利用者の個性に応じて運動器向上等の教室を行います。

生活支援体制整備事業**634万円**

担当：福祉課

- ◆ 高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくため、「資源開発」「ネットワーク構築」「ニーズと取組のマッチング」等を実施する生活支援コーディネーターを配置します。
 - ・ 生活支援コーディネーター（嘱託員2名）
 - ・ 生活支援コーディネーターによる生活支援等のサービスに係るボランティア等の担い手を養成するための研修を実施します。

認知症総合支援事業**456万円**

担当：福祉課

- ◆ 認知症の人が安心して暮らし続けるために、医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携を図るための支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務等をおこなう認知症地域支援推進員を配置します。
- ◆ 認知症カフェ（オレンジカフェ）を開設することで、認知症の人とその家族、地域住民、専門職が集い、認知症の人を支えるつながりを支援し、認知症の人の家族の介護負担を軽減します。
- ◆ 認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる認知症初期集中支援チームを配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築します。

地域ケア会議推進事業**126万円**

担当：福祉課

- ◆ 個別ケース検討会である個別会議から地域課題の解決を検討する場まで一体的に取り組めます。
 - ・ 地域ケア個別会議 個別ケース検討
 - ・ 介護保険サービス事業者全体会 町内の全サービス事業者を集め、現状の課題・地域課題・事業者のあり方等を検討
 - ・ 地域ケア会議 個別会議やサービス全体会を通しあがった課題等を検討するとともに町の方針を伝える場とする。

4. 障がい者福祉

在宅障がい者福祉サービス利用者の負担軽減事業

98 万円

担当：福祉課

- ◆ 障がい者は福祉サービス利用料の1割が自己負担となっているが、昨年に引き続き自己負担の2分の1の町助成を行います。

地域活動支援センター（I型）

650 万円

担当：福祉課

- ◆ 障がい者等を通わせ、創作的活動又は生産活動の機会の提供及び社会との交流促進の基礎的事業に加え、専門職員を配置し、医療福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整、地域住民のボランティア育成、障害に対する理解促進を図るための普及啓発等の事業を行います。

障がい者等相談支援事業

250 万円

担当：福祉課

- ◆ 障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、福祉サービスの利用支援など必要な支援を行う事業で、虐待防止、早期発見のための関係機関との連絡調整や権利擁護のために必要な援助を行う。専門性のある相談員が配置されている事業所に委託して行います。

人工透析患者福祉手当

210 万円

担当：福祉課

- ◆ 人工腎臓による血液透析療法の治療を受けている患者の通院交通費の一部を助成し、透析患者の健康維持と福祉の増進を図ります。

重度心身障がい児童福祉手当

168 万円

担当：福祉課

- ◆ 精神または身体に重度の障害を有する児童（20歳未満）に対し支給し、自動の福祉の増進を図ります。
 - ・ 1人あたり 4,000円/月、35名分×4,000円×12月

日常生活用具給付

512 万円

担当：福祉課

- ◆ 日常生活用具の給付を通じて、障害のある方の日常生活用具の便宜を図ります。

日中一時・移動・訪問入浴支援事業

1,358 万円

担当：福祉課

- ◆ 日中一時支援、移動支援、訪問入浴などの生活支援を行います。

5. 児童福祉

① 児童福祉

乳幼児・こども及び高校生等医療費助成事業

8,856万円

担当：町民こども課

- ◆ 保護者の負担軽減を図り、こどもの健やかな成長と児童福祉の向上を図るため、新富町に住所を有する乳幼児（未就学児）および小・中・高校生等が、保険医療機関等を受診されたときの医療費の一部を助成します。平成27年度から高校生等も対象者となり、より一層充実をしています。

活用できる補助金等	内容
乳幼児・こども及び高校生等医療費助成	乳幼児医療 1 診療報酬明細書ごとに 350 円（保護者負担分調剤薬局は自己負担なし）を控除した額を助成します。
	こども医療 1 診療報酬明細書ごとに 500 円（保護者負担分調剤薬局は自己負担なし）を控除した額を助成します。
	高校生医療費 1 診療報酬明細書ごとに 650 円（保護者負担分調剤薬局は自己負担なし）を控除した額を助成します。

多子世帯保育料助成事業

669万円

担当：町民こども課

- ◆ 安心して子どもを産み育てられる環境創出のため、大学校（大学院含む）、専門学校、高等学校、中学校、小学校、保育所（園）および幼稚園に在学している4人以上のこどもを養育している保護者に対し、4人目以降の保育料ならびに入園料の助成（無料）を行います。

一時預かり保育事業

1,069万円

担当：町民こども課

- ◆ 保護者の傷病などによる緊急時の保育や育児に伴う心理的・肉体的な負担解消のため、保育の需要に対応する保育園への補助を行います。

地域子育て支援拠点事業

2,340万円

担当：町民こども課

- ◆ 各地域において、子育て親子の交流などを促進する子育て支援拠点の設置（子育て支援センター）を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図るとともに、保護者の子育てに対する不安等を緩和し、こどもの健やかな育成を促進します。

活用できる補助金等	内容
地域子育て支援拠点事業助成金 [対象] 右の要件をすべて満たしている施設	1か所当たり年額7,453千円を補助しています。 ・保育所等の児童福祉施設で、効率的・継続的な事業実施が可能な場所であること。 ・原則として、週5日以上かつ1日5時間以上開設すること。 ※開設時間については、子育て親子のニーズや利用しやすい時間帯に十分配慮を行うこと。 ・育児、保育に関する相談指導等について相当の知識及び経験を有する者であって、地域の子育て事情に精通した専任の者2名を配置していること。

障がい児保育事業**624 万円**

担当：町民こども課

- ◆ 障がい児保育・教育の充実や障がい児の福祉の向上を図るため、事業に従事する保育士の雇用に要する経費の助成を行います。

延長保育促進事業**479 万円**

担当：町民こども課

- ◆ 就労形態の多様化などに伴う延長保育の需要に対応し、保育園が開所時間または利用時間帯を超えて保育に取り組む場合に補助を行います。

不妊治療費助成事業**300 万円**

担当：いきいき健康課

- ◆ 不妊治療に係る経済的負担の軽減を図るため、不妊治療費の一部助成を行います。

活用できる補助金等	内容
不妊治療費の一部助成	一般不妊治療（不妊検査、人工授精）については、治療費の2分の1、10万円を上限に助成を行います。平成29年度からは所得制限を撤廃します。
	特定不妊治療（体外受精・顕微授精）については、県の上乗せ助成として15万円を上限に、年度3回まで助成を行います。 また、妻の治療開始年齢が34歳未満の方には、県の上乗せ助成に加え、更に町独自で4回助成を行います。

母子保健事業**2,117 万円**

担当：いきいき健康課

- ◆ 妊婦一般健康診査については計14回、合計96,410円まで助成します。
- ◆ 乳児一般健康診査については計2回、合計11,750円（5,875円×2回）を助成します。
- ◆ 生後6・7ヶ月については、乳児一般健康診査を集団でも無料でうけることができます。
- ◆ 幼児の健康の保持・増進のため年に6回ずつ1歳6か月児健診、3歳児健診を実施しています。

養育医療**512 万円**

担当：いきいき健康課

- ◆ 身体の発育が未熟なまま出生した乳児であって、正常児が出生時に有する諸機能を得るに至っていない未熟児に対し、医療の給付を行います。

活用できる補助金等	内容
養育医療	一旦、町が医療機関へ医療に要した自己負担分の費用をお支払いします。保護者等の所得に応じて、自己負担が発生する場合があります。

放課後児童健全育成事業**3,190 万円**

担当：町民こども課

- ◆ 保護者が労働などによって昼間家庭にいない、小学校に就学しているおおむね12歳未満の児童に対し、授業終了後に保育園などを利用して適切な遊び場および生活の場を与えます。

放課後児童クラブ支援事業**569 万円**

担当：町民こども課

- ◆ 放課後児童クラブの円滑な事業実施のため、放課後児童健全育成事業を実施する施設において、障がい児受け入れのための専門的な知識を有する指導員の確保などを行うための補助を行います。

放課後児童クラブ利用負担軽減事業**553 万円**

担当：町民こども課

- ◆ 新富町内に住所を有する児童および新富町外に住所を有し、新富町内の小学校に在学する児童が、町内にある児童クラブを利用する場合に、利用料のうち、8月を除く各月は月額3,000円、8月は月額8,000円を超えた額のうち2,000円を上限として算出した額を補助しています。

要保護児童の早期発見及び適切な保護**2 万円**

担当：町民こども課

- ◆ 保護者のいない児童、もしくは保護者に監護させることが不相当であると認められる児童（要保護児童）の早期発見およびその適切な保護を図るため、新富町要保護児童対策地域協議会において、情報交換を行うとともに、要保護児童に対する支援の内容に関する協議を行います。

病後児保育事業**842 万円**

担当：町民こども課

- ◆ 保護者が就労しており、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合、保育園などにおいて病気の児童を一時的に保育するほか、保育中に体調不良となった児童への緊急対応などを行うことで、安心して子育てができる環境を整備し、児童の福祉の向上を図ります。
- ◆ 具体的な取組みとして、保育士・看護師等を配置し、静養・隔離の機能を持つ専用スペース（部屋）を確保するなど一定の要件を満たし事業を行う施設に対して補助を行います。

6. 低所得者福祉・母子父子・家庭福祉

① 低所得者福祉・母子父子・家庭福祉

ひとり親家庭医療費助成事業

740 万円

担当：町民こども課

- ◆ ひとり親家庭の健康増進と福祉の向上を図るため、ひとり親家庭の医療費を助成します。

第3節 教育・文化・人づくり

1. 幼児教育
2. 義務教育
3. 青少年健全育成
4. 生涯学習
5. 文化・スポーツ
6. ボランティア・男女共同参画

1. 幼児教育

家庭教育の充実

担当：町民こども課

- ◆ 家庭での幼児教育の重要性について、講習会などで啓発を図るとともに、幼稚園・保育所、関係機関とも連携した各種研修会を開催しながら保護者・地域の理解を得て、家庭教育に対し支援します。

ブックスタート事業・家庭教育支援事業

41万円

担当：生涯学習課

- ◆ 乳児健診に合わせて親子に絵本の配布を行う「ブックスタート事業」や読み聞かせと音楽を取り入れたイベント「夢いっぱい広場」の開催により絵本を通じた親子のふれあいを啓発します。
- ◆ 町地域婦人連絡協議会の皆さんが行う小学校の参観時の託児事業を支援します。

私立幼稚園振興補助金事業

30万円

担当：町民こども課

- ◆ 幼稚園の教育条件の維持、向上および在園する幼児にかかわる経費負担の軽減を図るため、設置者が購入しようとする教具、教材などの助成を行います。
- ◆ 障がい児の幼児教育の向上を図るため、障害のある幼児の支援を目的とした職員加配に伴う経費の助成を行います。

2. 義務教育

①教育施設の整備

学校施設・設備の充実

5億7,522万円

担当：教育総務課

- ◆ 学校施設の充実に取り組みます。
- ① 上新田小学校建設及び関連諸整備を平成29年度中に行い、小中一貫校開校を目指します。
- ② 講堂床改修、講堂雨漏り工事などの施設の改修を実施します。
- ③ 給食センターについては、建設計画を進めます。

②教育内容の充実

学力の向上

2,744万円

担当：教育総務課

- ◆ 学習指導方法の工夫改善に努めるとともに小中一貫教育を推進します。
- ① 県教育委員会から指導主事の派遣を受け、専門的な立場から学校への指導助言の強化を図ります。
- ② 「学力・授業力向上推進リーダー」による授業研究及び授業公開を通じて、各学校においても授業改善に取り組みます。
- ③ 非常勤講師の配置の充実、適応指導教室「けやき教室」と学校の連携の充実に図り、各学校の児童生徒一人ひとりへのきめ細かな指導を行います。
- ④ 全中学校区で家庭学習の充実に図ります。
- ⑤ 新田学園では、小中一貫校ならではの教育を推進するとともに、上新田中学校区では30年4月の施設一体型小中一貫校開校のための準備を行い、全中学校区での小中一貫教育を目指します。

読書推進事業の展開

535万円

担当：教育総務課

- ◆ 「読書のまち新富づくり」のもと学校内でも読書活動を推進します。
- ① 学校図書サポーターを学校区ごとに1名ずつ配置するとともに、読書推進協議会及び新富町中学校読書推進委員会との連携を図り、学校図書館のより一層の活用を図ります。
- ② 毎月20日～26日をファミリー読書週間とし、23日をファミリー読書の日とすることで、家族での読書活動を推進します。
- ③ 幼保小連携モデル事業を活用するなど連携した読書活動の充実に図ります。

健康安全教育・食育の推進・道徳教育

担当：教育総務課

- ◆ 体力向上と保健・安全教育の充実、事故防止と危機管理体制の確立を図ります。
- ① 「早寝早起き、歯磨き、朝ご飯運動」を推進します。
- ② 食に関する指導（食育）及び「地産地消の日」「弁当の日」の取り組みを推進します。
- ③ 交通安全指導の推進、緊急非常時体制組織を点検し、対応マニュアルに基づく非常時訓練を支援します。
- ④ 学校の教育活動全体をとおして道徳教育を推進するとともに、体験を通して道徳的実践力を高めます。

生徒指導等の充実**349 万円**

担当：教育総務課

- ◆ 学校教育の充実を図ります
- ① 児童生徒の心のケアのため、スクールアシスタントを配置し、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを活用します。
- ② 中学生海外派遣研修を行います。
- ③ 各小中学校のパソコン教室用パソコンの更新を行い I C T 環境の再構築を行います。パソコンや電子黒板を有効活用します。
- ④ 家庭・学校・地域での「あいさつ運動」を推進します。
- ⑤ 西都児湯いじめ問題対策専門家委員会等の関係機関と連携して子どもの抱える問題行動の解決や未然防止等に取り組みます。

家庭・地域社会・学校の連携

担当：教育総務課

- ◆ 心豊かな児童生徒の育成を図ります。地域の行事などに積極的に参加し、郷土に誇りを持つ児童生徒の育成を図ります。

特別支援教育の充実**199 万円**

担当：教育総務課

- ◆ 個々の児童生徒の障がいの状況に応じた特別支援教育を推進します。
- ・ 適応指導教室（けやき教室）を設置し、個々の児童生徒に向き合ってきため細やかな教育を推進します。

3. 青少年健全育成

① 青少年健全育成

子どもの体験活動支援事業等

54 万円

担当：生涯学習課

- ◆ 町内各中学校区で活動する育てる会やキッズキッチン、サタデーサイエンス、子どもフェスティバルなど運営実行委員会やボランティア団体と連携して子どもの体験活動を推進・支援します。

新富町チャレンジスクール事業・子ども会育成事業

5 万円

担当：生涯学習課

- ◆ しんとみチャレンジスクール事業に取り組み、自ら考え行動する子ども達を育成します。
- ◆ 宿泊体験事業やレクレーション活動を通じて、連帯感や達成感、公共心を学ぶ子ども会活動の支援を行います。

青少年の健全育成事業

12 万円

担当：生涯学習課

- ◆ 青少年の意見発表の場として青少年の声を聴く集いを開催します。
- ◆ 青少年育成町民会議を中心としたあいさつ運動、青少年の見守りに取り組みます。

4. 生涯学習

① 生涯学習環境の整備

新田公民館の移転適地選定事業

278 万円

担当：生涯学習課

- ◆ 河川改修に伴い移転計画のある新田公民館の移転先の適地選定を行います。

② 生涯学習活動の促進

人権啓発活動の取組

23 万円

担当：町民こども課

- ◆ 新富町人権擁護委員による無料の人権相談所を富田地区、新田地区、上新田地区それぞれ年2回ずつ計6回開催します。
- ◆ 人権尊重理念への理解を深めてもらうため町主催のイベントや人権週間に合わせて人権啓発活動を行い、人権尊重のまちづくりを推進します。
- ◆ 町内の小中学校及び特別支援学校の児童生徒において、人権を尊重することの大切さについて理解を深めてもらうことを目的に、人権に関する作品の募集を行い、その作品を人権週間等に啓発資料として活用し広く人権意識の普及高揚を図ります。

生涯学習活動の促進

185 万円

担当：生涯学習課

- ◆ 町民のニーズ、年齢層にあった生涯学習講座を開講し、学習機会の場を提供します。
- ◆ 各地区における生涯学習活動に対し講師助成を行い、自治公民館活動の生涯学習を支援します。
- ◆ 町民の生涯学習活動の発表の場として「生涯学習ウィーク」を開催し、生涯学習の啓発と推進を図ります。

活用できる補助金等	内容
生涯学習講師助成事業	4,500 円/回（申請地区への補助額）

成人式自主運営

27 万円

担当：生涯学習課

- ◆ 新成人者より実行委員を募集し、実行委員会組織による成人式の自主企画・運営を支援し、新成人の社会参加を促進します。

読書環境整備及び推進事業

1,193 万円

担当：生涯学習課

- ◆ 読書環境充実のため図書館の蔵書の整備を進めるとともに、「読書だより」を発行し啓発を図ります。
- ◆ 「しんとみ読みがたり」を開催し読書活動の推進を図ります。
- ◆ 各種団体(実行委員会等)との連携による催しを企画し図書館の利用者の拡大を図ります。
- ◆ 子どもの読書活動の施策を推進するための「子どもの読書推進計画」策定に取り組みます。

5. 文化・スポーツ

文化財の環境整備及び活用

642 万円

担当：生涯学習課

- ◆ 新田原古墳群の整備を継続し、周遊できる空間づくりに努めます。
- ◆ 埋蔵文化財の調査を進めます。
- ◆ 資料館を学習の場として活用を図ります。
- ◆ 関係自治体と連携し、日本遺産等の取組みの研究を進めます。

文化活動の推進

5,522 万円

担当：生涯学習課

- ◆ 文化会館の利活用を円滑に行うため、適正な維持管理を行います。
- ◆ 町内の無形民俗文化活動の継承を支援します。

生涯スポーツ活動の促進

245 万円

担当：生涯学習課

- ◆ 各年齢層に応じた各種スポーツ教室、大会を開催します。
- ◆ スポーツ推進委員の派遣を通じてニュースポーツ等の普及と指導を行います。
- ◆ 全国、九州大会出場に要する費用の助成を行います。
- ◆ 関係各課と連携し、健康長寿とスポーツ習慣の意識の醸成を図ります。

活用できる補助金等	内容
スポーツ少年団等全国・九州大会出場助成	九州大会 1 万円/1 名、全国大会 2 万円/1 名を助成します。

体育施設管理及び整備

担当：生涯学習課

- ◆ 体育施設の適正な管理と整備に向けて調査・研究を行います。

スポーツを通じた交流人口の拡大

担当：生涯学習課

- ◆ スポーツ交流センターのPRを町内外で行い、利用促進を図ります。

6. ボランティア・男女共同参画

① ボランティア団体・活動への支援

ボランティア公募の推進

担当：まちおこし政策課

- ◆ 各種ボランティアについて、公募を行っていきます。
- ◆ ボランティア協議会との密な連携を図りながら、草刈りやまつり、イベント等のボランティアの確立を推進します。

② 男女共同参画の促進

男女共同参画の推進

担当：まちおこし政策課

- ◆ 新富町男女共同参画計画に基づき、男女共同参画社会の形成に向けて理解を深めるための広報活動に取り組みます。
- ◆ 政策・方針決定に男女の意見がそれぞれ反映されるよう、各種審議会等へ女性の参画を推進します。

第4節 産業・経済

1. 農業
2. 林業・水産業
3. 商業、サービス業、工業
4. 観光

1. 農業

① 農業経営の充実

効率的・安定的な水田農業の確立

1,092 万円

担当：農業振興課

- ◆ 国の制度等を活用し、新規需要米(飼料用稲、米粉米、飼料用米、加工米)の作付や水田後作としてのそば、なたね、麦、飼料作物の作付推進などを図り、既存の水田営農から地域の特性を生かした新たな水田営農への転換及び米の生産調整と水田農業の構造改革を総合的に推進して、生産性の高い水田農業経営の確立を図ります。

認定農業者等への農地の集積

60 万円

担当：農業委員会事務局

- ◆ 農業経営基盤強化促進法を活用し、農業委員及び農地利用最適化推進委員によるあっせんを推進し、認定農業者等へ農地の集積を図ります。

新規就農者及び農業後継者への支援

3,300 万円

担当：農業振興課

- ◆ 農業後継者の確保と就農意欲の増進、担い手の育成、更には円滑な農業経営の継承を目指して、新規就農者及び農業後継者への支援を行います。

活用できる補助金等	内容
農業次世代人材投資事業	認定新規就農者に対し、最大年間 150 万円（夫婦型は 1.5 倍）を最長 5 年間支給します。支給に際しては、土地・機械類の権利関係、経営主宰権の有無など諸々の支給条件があります。また、農業後継者については、新技術の導入など、新規就農者と同程度のリスクを負っていることも条件になっています。
新富町就農支援交付金	平成 20 年 4 月以降に就農した者であり、就農から 1 年以上経過し、かつ 45 歳未満の方を対象に、就農時に 50 万円、就農後 5 年以内に農業経営を開始した場合、追加で 50 万円（合計 100 万円、1 回のみ）を支給します。 なお、青年就農給付金（経営開始型）を受給中の方は除きます。

新富町農業活性化プロジェクト事業

850 万円

担当：農業振興課

- ◆ 町内外からの新規就農者等に対する就農支援として、新規就農受入支援システム及び支援体制の構築に取り組むとともに、町の基幹産業である農業の発展と農業従事者の確保を図ります。

新富そばの安定生産の推進**18万円**

担当：農業振興課

- ◆ 新富そばの安定生産を行うために種子の導入に対して支援を行います。

活用できる補助金等	内容
そば種子確保緊急対策事業補助金	優良種子の導入に補助し、そばの安定生産を図る。

しんとみライチの産地化の支援**21万円**

担当：農業振興課

- ◆ しんとみライチの産地化のための苗木導入に対して支援を行います。

産地パワーアップ事業

担当：農業振興課

- ◆ 地域の営農戦略に基づいて、実施する産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援します。

有害鳥獣対策**110万円**

担当：農業振興課

- ◆ 年々被害が拡大するサル、イノシシなどの有害鳥獣の駆除等に対して専門の駆除員を配置して、農作物の被害軽減対策に取り組みます。

活用できる補助金等	内容
有害鳥獣捕獲班活動支援補助金	有害鳥獣捕獲活動に対する補助金です。
野生猿特別捕獲班活動支援事業補助金	特に被害の大きいサル捕獲活動に対する補助金です。
シカ捕獲特別対策事業補助金	有害鳥獣のシカの駆除の補助金です。

認定農業者等（担い手）の育成**42万円**

担当：農業振興課

- ◆ 地域農業の担い手である認定農業者の育成支援、及び農業経営の確立を目的とした、先進農家との交流や講演会開催の経費に対して支援を行います。

遊休農地等の解消及び発生防止**177万円**

担当：農業委員会事務局

- ◆ 高齢化や労働力不足等により増加傾向にある遊休農地等の解消及び発生防止を図るために定期的にパトロールを行い、農地相談員を活用し所有者及び利用者との調整を図ります。

活用できる補助金等	内容
耕作放棄地再生利用緊急対策交付金	農用地内の遊休地を再生する事業で、国庫補助金は事業費の2分の1、児湯担い手協議会を通じて実施されます。

農業者年金の推進**101万円**

担当：農業委員会事務局

- ◆ 農業後継者や新規就農者へ啓発を行い、年金制度への理解を図り農業者年金加入を推進します。

活用できる補助金等	内容
政策支援	認定農業者など一定の要件を備えた意欲ある担い手には、保険料（月2万円）の2割（4,000円）、3割（6,000円）、5割（1万円）の国庫補助があります。（最長20年間）

② 農産物加工・流通対策の充実

しんとみアグリブランド創生事業

128万円

担当：農業振興課

- ◆ 農産物フェアを開催して宮崎県新富町産の農畜産物を県内外にPRをし、販路拡大を図ります。

活用できる補助金等	内容
しんとみアグリブランド創生事業	農業の町である本町産の農畜産物の販売の促進につながる取組に対し補助を行います。

③ 農業生産基盤の整備

農道舗装の推進

313万円

担当：農地管理課

- ◆ 幹線農道のコンクリートによる舗装を行います。

農業基盤整備事業の推進

1,500万円

担当：農地管理課

- ◆ 農地の暗渠排水を行います。

圃場整備の推進

72万円

担当：農地管理課

- ◆ 関連土地改良事業区域内の圃場整備の取り組みに対して支援を行います。

活用できる補助金等	内容
大和地区農地整備促進協議会補助金	大和地区圃場整備取り組みに対しての町独自の補助金です。
新田西地区農地整備促進協議会補助金	新田西地区圃場整備取り組みに対しての町独自の補助金です。

農地中間管理事業の推進

369万円

担当：農地管理課

- ◆ 担い手への農地集積・集約化を図るため農地中間管理事業を推進します。

活用できる補助金等	内容
地域集積協力金	地域内の農地や一定割合以上を機構に貸付けた場合の協力金です。

経営転換協力金	経営をリタイアされた方などが、その農地を機構に貸付けた場合の協力金です。
耕作者集積協力金	隣接する複数農地を機構に貸付けた場合の協力金です。

④ 環境に優しい農業の推進

多面的機能支払交付金事業及び新富町農地・水環境保全事業補助金の推進

4,825 万円

担当：農地管理課

- ◆ 多面的機能支払交付金として、集落が共同して行う農地・農業用水等の保全管理と集落環境の向上を目的とした活動やその補修・更新等の活動に対して支援を行います。また、国の事業で支援できない活動に対しては、町単独事業として支援します。

活用できる補助金等	内容
多面的機能支払交付金事業補助金	農業用水路・農道等の清掃・美化活動や補修・更新、舗装等の施設の長寿命化の活動に対する国および町からの補助金です。
新富町農地・水環境保全事業補助金	農業用水路等の清掃・美化活動に対する町独自の補助金です。

環境保全型農業推進

35 万円

担当：農業振興課

- ◆ 温暖な気候と豊かな土壌や水資源等を生かし、稲作や野菜生産に取り組んでいるが、近年の消費者の食の安全への関心や環境に対する意識の高まりに対応するため、環境負担の軽減に配慮した農業の生産方法を普及することが必要であるため、有機農業の取組に対する支援を行います。

⑤ 畜産の振興

家畜伝染病防疫強化対策

197 万円

担当：農業振興課

- ◆ 口蹄疫、鳥インフルエンザ等の防疫対策を確立し、安心安全な畜産経営の構築を図ります。

活用できる補助金等	内容
家畜伝染病防疫対策事業補助金	口蹄疫・鳥フル等の家畜伝染病の防疫強化の補助金です。

肉用牛・乳用牛振興対策

822 万円

担当：農業振興課

- ◆ 肉用牛の優良繁殖雌牛確保、肉用牛肥育素牛地元購買促進、乳用牛の後継牛確保に対して支援を行います。

活用できる補助金等	内容
肉用牛増頭対策事業補助金	優良な繁殖雌牛の導入に対する町単独の補助金です。

肥育素牛導入対策事業補助金	町内で生産された肥育素牛を導入した農家に対する町単独の補助金です。
乳用雌牛増頭対策事業補助金	雌判別精液を購入する酪農家に対する町単独の補助金です。
乳用雌子牛増頭対策事業補助金	自家産雌牛を後継牛として自家保留する酪農家へ対する町単独の補助金です。
酪農競争強化対策補助金	乳用牛群の改良を推進するための町単独の補助金です。

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策**1億1,533万円**

担当：農業振興課

- ◆ 担い手の育成、新規就農者及び農業後継者への牛舎整備等の支援を行い、肉用牛・乳用牛の増頭対策と収益力向上と生産基盤の強化に取り組みます。

活用できる補助金等	内容
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金	牛舎・堆肥舎等の新築・増改築、機械装置の導入、子牛の導入に対する国の補助

2. 林業・水産業

海岸保安林の松くい虫防除

331 万円

担当：農業振興課

- ◆ 災害の防止とともに富田浜松林の優れた景観を残すために、松枯れを防止するための薬剤散布、薬剤の樹幹注入、伐倒駆除を行います。

活用できる補助金等	内容
松くい虫防除事業補助金	地上から薬剤防除を行い、松くい虫被害の予防及び被害の拡大防止のための補助金です。
松くい虫防除樹幹注入業務補助金	松くい虫による被害を防ぐため薬剤注入及び薬剤散布のための補助金です。

3. 商業、サービス業、工業

① 商店街の活性化

地元商店街等との連携

694 万円

担当：まちおこし政策課

- ◆ 地元商店街等が地元の活性化のために企画・運営するイベントを支援します。
- ◆ 新富町商業共同組合と連携し、ギャラリーしんとみの企画内容の充実を図り、新富町の文化芸術を情報発信するとともに、地域資源を活用した様々なイベントを通じて新富町の魅力をアピールします。
- ◆ 九州各県対抗少年相撲大会などの各種イベントを通じて、地元商店街等での消費喚起を図ります。

商工業の振興

4,353 万円

担当：まちおこし政策課

- ◆ 新富町商工会と連携し、中小企業、小規模事業者及び創業の支援のための体制強化を図ります。
- ◆ 商工会青年部・女性部の活動を促進し、地元経済を担う後継者の育成、交流の活性化に取り組みます。
- ◆ 中小企業及び小規模事業者のための町融資制度を実施し、金融機関と連携し中小企業等の資金調達を支援します。
- ◆ 商工業振興補助金により、意欲のある事業所の経営基盤強化、人材育成等を支援します。
- ◆ ハローワーク高鍋(高鍋公共職業安定所)が提供するハローワーク求人情報を町ホームページに掲載します。

企業誘致の推進

29 万円

担当：まちおこし政策課

- ◆ 新たな工業団地確保のための候補地の研究とあわせ、町外からの企業誘致に取り組みます。
- ◆ 西都・児湯地区企業立地促進協議会を核として広域的な企業誘致活動に取り組みます。
- ◆ 町内立地企業の事業・取引の拡大による経済波及を促進するため、町内立地企業の増設等の支援に取り組みます。
- ◆ 町内立地企業のニーズに迅速に対応するための企業訪問活動、町内立地企業間の交流促進を図るための懇談会等に取り組みます。

4. 観光

新富町まちづくり事業

担当：都市建設課まちづくり推進室

- ◆ 深刻化が予想されている「人口減少時代」に対応するため、魅力ある地域資源を効果的に連携させ、交流人口の増加と地域活性化を契機とした、町内に賑わいを生み出す取り組みとして「新富町まちづくり事業」を推進します。
 - ①地権者説明会の開催
 - ②町民説明会の開催

こゆ地域づくり推進機構による日本版 DMO 形成事業

2,000 万円

担当：まちおこし政策課

- ◆ こゆ地域づくり推進機構が核となり、地域資源を活用した商品開発、地場産品の物販販売、生産者・事業者等の経営力強化のための人材育成、観光・移住を絡めた定住促進に取り組みます。

こゆ地域づくり推進機構による観光推進・ 駅乗車券販売・ふるさと納税推進事業

3 億 2778 万円

担当：まちおこし政策課

- ◆ こゆ地域づくり推進機構が日向新富駅における乗車券販売を運営します。
- ◆ 観光イベント運営等のほか、地場産品を活用したふるさと納税の推進に取り組みます。

新富温泉「サン・ルピナス」の集客

698 万円

担当：まちおこし政策課

- ◆ 新富温泉「サン・ルピナス」の集客を図るため、指定管理者と連携し、PR活動を積極的に行います。
- ◆ お客様の声を大切にし、お客様のニーズにあったサービスをより一層強化します。
- ◆ 施設を気持ちよく利用していただけるよう老朽化による修繕を迅速に行います。

魅力ある観光の振興

195 万円

担当：まちおこし政策課

- ◆ さいとこゆ観光ネットワークと連携し、広域連携による観光PRやイベント運営に取り組みます。

第5節 ビジョンを実現するための行政の取り組み

1. 行財政
2. 町民参加の推進
3. 行財政運営の効率化

1. 行財政

① 長期総合計画の実効性の確保

長期総合計画の実効性の確保

49 万円

担当：まちおこし政策課

- ◆ 基本構想および基本計画に基づく施策について、毎年度の事業実施計画書を作成するとともに、前年度の検証を実施し、公表します。
- ◆ 基本構想に基づく平成 30 年度から向こう 4 か年の後期基本計画を策定します。

2. 町民参加の推進

① 行政情報の公開

行政情報の公開

担当：総務財政課

- ◆ 町の財政状況について、予算（決算）議決（認定）ある後、速やかに広報誌及び町のホームページに掲載し、情報公開に努めます。

広報誌等による情報提供の充実

242 万円

担当：まちおこし政策課

- ◆ 町広報誌、町のホームページの活用により町民への情報提供の充実を図ります。

開かれた議会の実現

担当：議会事務局

- ◆ 町民が参加できる議会を目指し、議会報告会などへの取り組みについて補助・支援を行います。

② 町民参画のまちづくり

議会広報の充実

125 万円

担当：議会事務局

- ◆ 町民の読みやすい「議会だより」になるよう、アンケート等を実施し、多くの町民に読んでいただける広報誌を目指します。
- ◆ 議会活動の内容を町内外へ発信するため、ホームページの充実を図ります。
- ◆ 議会広報特別委員会の研修の補助・支援を行います。

先進性のある議会の実現

443 万円

担当：議会事務局

- ◆ 政策提言につながる各常任委員会及び特別委員会の行政調査の補助・支援を行います。

地区（自治会）加入の推進

担当：総務財政課

- ◆ 地域に愛着を持ち、環境整備や防犯・防災、青少年育成などで主体的に活動できる地区組織拡充のため、広報誌等で地区加入への呼びかけや転入者に対しての地区加入チラシを配布し、地区加入の推進を図ります。

地域づくり事業の推進

1,307 万円

担当：まちおこし政策課

- ◆ まちづくり条例に基づく一般枠・イベント開催枠を広く町民に周知し、一般枠のさらなる実績増を目指します。
- ◆ まちづくりを推進するためのリーダーの発掘・育成に取り組みます。

活用できる補助金等	内容
<p>まちづくり補助金</p> <p>[対象] まちづくり団体 自治組織</p>	<p>地域の活性化や課題解決を目的に、新たに取り組む事業や、既存の事業を拡充する場合で、世代を超えた多くの町民が見込まれる公益性のある事業を実施する団体に交付します。</p> <p>(1) 一般枠 まちづくり団体が行う、広域的なまちづくりを行うための事業 補助額補助対象経費の 10/10 以内(限度額 10 万円)</p> <p>(2) 地域コミュニティ活性化枠 自治組織が行う生涯学習活動や世代を超えた地域コミュニティの持続的な発展のために行う事業 補助額補助対象経費の 10/10 以内(限度額 6 万円)</p> <p>(3) イベント枠 まちづくり団体が行う広く町民を対象にしたイベント開催に係る事業 補助額町長が定める額</p>

若者連絡協議会等の活動推進	151 万円
----------------------	---------------

担当：まちおこし政策課

- ◆ 新富町の青年団体の集合体である若者連絡協議会を積極的に支援・助言を行い、町内若者組織強化を図り、若者による地域づくりを推進します。
- ◆ 町民参加による花の里づくりを推進し、魅力ある景観づくりと町民交流によるコミュニティ強化を促進します。
- ◆ 新富町出身者等で構成する新富会関東支部の活動を支援します。

3. 行財政運営の効率化

① 財政運営の効率化

財政運営の効率化

担当：総務財政課

- ◆ 財政運営の効率化を図るため、歳出費目の無駄の洗出しを行い、予算に反映します。
- ◆ 事業の必要性の検討を行うとともに優先順位を決め、歳出の安定化を図り、予算に反映させます。
- ◆ 国・県補助金を活用することにより財源を確保し、財政運営の健全化を図ります。

② 財源の確保

財源の確保

担当：総務財政課

- ◆ プライマリーバランス（町債発行額を除く歳入と、公債費を除く歳出の差で、基礎的な財政収支を示すもの）の黒字を維持し、財政健全化指数等も注視しながら引き続き健全な財政運営の維持を図ります。

収納業務一元化の取組

担当：税務課

- ◆ 保育料と後期高齢者医療保険料の収納業務を税務課で行い、町民の利便性の向上と業務効率化を図ります。
- ◆ 介護保険料と住宅使用料の収納業務も税務課に集約するために、システム改修を含めた検討会を開催します。

家屋全棟調査

713 万円

担当：税務課

- ◆ 現在課税されている家屋との公平性を確保するため、「家屋調査システム」を基に課税されていない家屋を対象に調査するものです。
- ◆ 平成 26 年度に撮影した航空写真と前回の写真（平成 23 年度撮影）とを比較し、区域毎に効率的な抽出作業をおこない、現地調査を実施します。併せてその成果を家屋システムの修正更新に努め、課税漏れ等の縮減に努めます。
- ◆ 平成 29 年度航空写真撮影業務を行い、システムに反映させることで翌年度以降の全棟調査の精度向上を図ります。

固定資産（土地）評価総合調査業務

735 万円

担当：税務課

- ◆ 各地目ごとに公平な評価を確保するため、所在地・利用状況等により現行評価を検証し、見直しを含め、適正評価を図ります。この業務は、平成 30 年度評価替えのために、平成 27 年度から 3 年をかけて実施するもので、平成 29 年度は最終年度となります。

平成 29 年度は、次のとおり作業を行います。

- ① 路線データ調査
- ② 路線価仮算定及び路線価算定
- ③ 路線区分図作成

- ④ 公開用路線価図作成
- ⑤ 画地計測・画地認定図作成
- ⑥ 地番路線図作成
- ⑦ その他の宅地評価法及び土砂災害警戒区域等に係る評価業務等

未納者への対応

担当：税務課

- ◆ 納期限が過ぎた未納分がある方には、早期に納付依頼文書を送付して、滞納金額が増加することを防ぎます。
- ◆ 納付が困難な方については、相談により、年度内完納となるような納付計画を立てます。
- ◆ 督促状や催告書を送付しても、納付や反応のない方に対しては、税の公平性を保つことを目的として、法に基づいた滞納処分を速やかに行います。

余裕金管理の充実

担当：会計課

- ◆ 安心安全を基本に高金利の金融機関を選定し、余裕金の活用による預金利息のさらなる拡大確保に努めます。

収納代理金融機関の拡充

担当：会計課

- ◆ 納付者の利便性向上と収納率アップを図るため、収納代理金融機関の拡充を図ります。

③ 行政運営の効率化

行政運営の効率化

担当：総務財政課

- ◆ さらなる行政運営の効率化を目指し、行政需要に対応した機構改革を実施し、業務内容に応じた職員構成、適正な人員配置に取り組みます。

窓口業務のサービス向上

15万円

担当：町民子ども課

- ◆ 来庁者へ優しく丁寧な対応とわかりやすい案内の充実を心掛け、来庁者の目線に合わせた温かみのある窓口を目指します。
- ◆ 業務知識を深めて信頼される職員を目指すために、法務局等の各種研修会に積極的に参加します。
- ◆ 各種証明書の発行、多様化する来庁者への幅広い問い合わせや要望に対応するため、担当課と総合窓口との連携をはかり、来庁者の皆様の利便性をはかります。
- ◆ 出生したお子さまの誕生のお祝いと健やかな成長、ご家族の幸せを祈念して当町独自の「出生お祝い記念品」を希望者に交付します。

国民年金の充実

担当：町民こども課

- ◆ 国民年金の制度に関する理解を深めてもらうため、町広報誌及びホームページを通じて広く広報を行います。
- ◆ 窓口にて「ねんきんネット」を活用し、町民の皆様の年金記録の照会等を行い、サービスの向上に努めます。

④ 職員の資質向上

職員の資質の向上

151万円

担当：総務財政課

- ◆ 職員の資質の向上のため次の事業に取り組みます。
 - ① 人事評価制度を更に充実させ、人材育成を図ります。
 - ② 宮崎県との人事交流を行います。また、県市町村課へ職員を派遣します。
 - ③ 市町村研修センターの実施する研修に参加します。
 - ④ 町独自の派遣研修を積極的に行います。
 - ⑤ 職員に対する独自研修を充実させます。
 - ⑥ 職員の心身にも気を配り、メンタルヘルスやカウンセリングを行います。